

|             |   |         |      |
|-------------|---|---------|------|
| 事 項         | タネバエによるだいこんの根部被害の発生要因   |         |      |
| ね ら い       | <p>タネバエは多くの作物で種子や幼苗を加害する害虫として知られているが、だいこんなどの根菜類では生育初期の被害だけでなく生育中～後期の肥大根に幼虫の食入痕が発生し、品質に大きな影響を与える。そこで、タネバエの発生とだいこんの根部被害発生との関係を調査した結果、根部被害が多発する要因が明らかになったので、防除対策上の参考に供する。</p>  |         |      |
| 指 導 参 考 内 容 | <p>1 タネバエ幼虫によるだいこんの根部被害の発生時期<br/>5月播種でもっとも多く、6月と9月播種でやや多く、7～8月播種で少ない。</p> <p>2 タネバエによるだいこんの根部被害が多発する要因<br/>(1) タネバエの産卵が多い時期に生育する作型（5月、6月及び9月播種）で多発する。<br/>(2) 播種時にタネバエ成虫を誘引する魚粕やなたね油粕等を含んだ有機質肥料を施用すると被害は甚大になる。</p> <p>3 タネバエ成虫の発生と産卵消長<br/>(1) 成虫は4月下旬～5月上旬に初発生し、11月まで4～5回発生をくりかえす。成虫は雨の多い時期に多く発生する。<br/>(2) 成虫の産卵消長には一定した季節変動がみられ、産卵数は5～6月にもっとも多く、7～8月に低下し、9～10月にふたたび増加する。<br/>(3) 夏期に発生する雌成虫は、卵～蛹期に高温条件を受け、産卵能力が低下する。これが夏期に産卵数の少なくなる一原因である。</p> |         |      |
| 期待される効果     | タネバエの発生予察上の基礎資料となるとともに、適切な防除指導の参考となる。   |         |      |
| 利用上の注意事項    | 特になし  |         |      |
| 担 当         | 青森県農業試験場 環境部  | 対 象 地 域 | 県下全域 |
| 発 表 文 献 等   | 平成7～10年度 青森県農業試験場成績概要集  |         |      |

【根拠となった主要な試験結果】

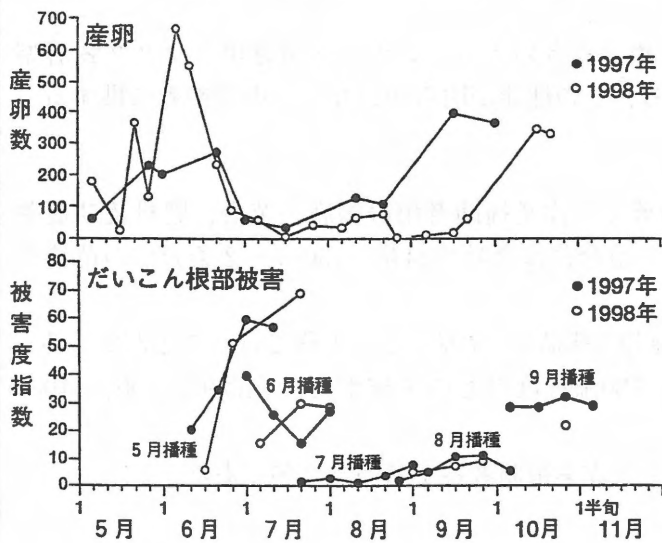


図1. タネバエ産卵とだいこん根部被害の推移  
(平成9～10年度 青森農試)

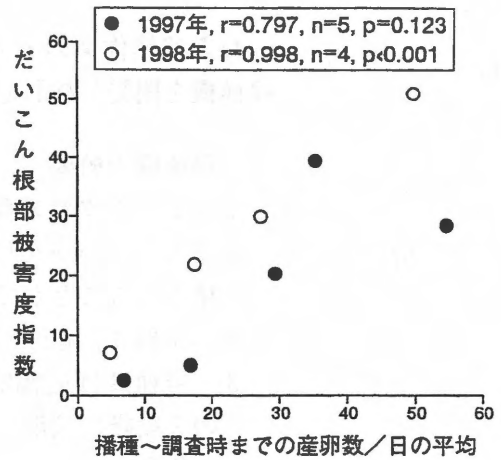


図2. だいこん根部被害とタネバエ産卵数  
(平成9～10年度 青森農試)

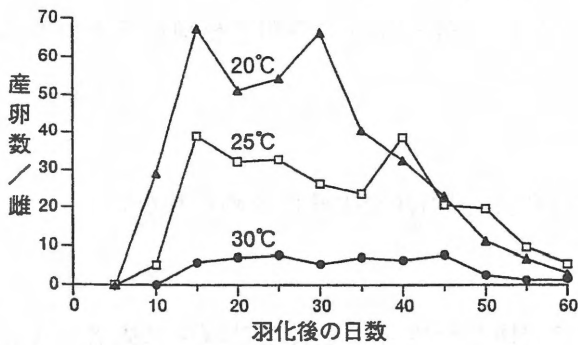


図3. 成虫の産卵に及ぼす卵～蛹期の温度の影響  
図中の温度は卵～蛹期の温度で、成虫の産卵は20℃一定条件下で調査  
(平成7年度 青森農試)

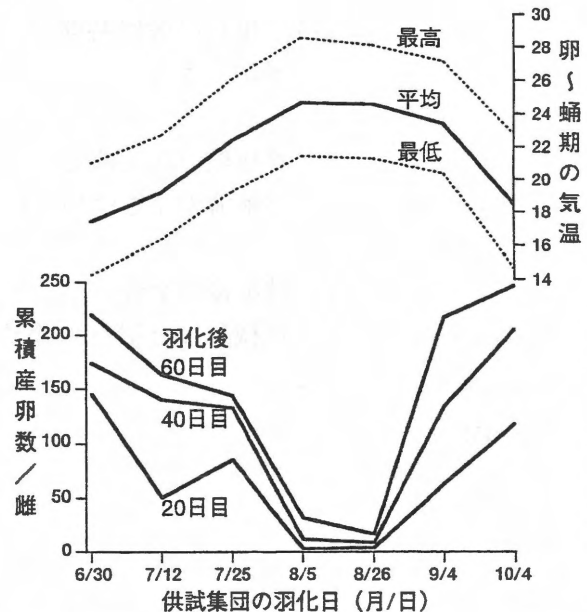


図4. 卵～蛹期を野外(網室)条件で飼育した集団の産卵推移  
成虫の産卵は20℃一定条件下で調査  
(平成7年度 青森農試)

表1. 有機質肥料のタネバエ誘引性  
(平成8年度 青森農試)

| 区名     | タネバエ発生量(頭/5ポット、3反復の平均値) |          |         |           |
|--------|-------------------------|----------|---------|-----------|
| 誘引期間   | 7月12-16日                | 7月25-29日 | 9月9-13日 | 10月11-15日 |
| 有機質肥料A | 20.3                    | 7.3      | 6.3     | 1.3       |
| 発酵鶏糞   | 34.7                    | 8.0      | 6.7     | 0.3       |
| 有機質肥料B | 79.7                    | 54.3     | -       | -         |
| なたね油粕  | 50.0                    | 72.3     | -       | -         |
| 無処理    | 11.0                    | 3.0      | 0.3     | 0.3       |

注) タネバエ発生量が多いものを誘引性が高いものとする。  
有機質肥料Aの含有有機質: カニガラ、植物質有機(脱脂米ヌカ他)の発酵物  
有機質肥料Bの含有有機質: なたね油粕、ひまし油粕、カニガラ、皮革粉、だいに油粕、骨粉、魚粕の発酵物